

神の国の奥義(9)

=神の国での私たち⑦=

1. 神の家の祭司団

- ① 霊の家として築かれる(エペソ2:22;1ペテロ2:5a)
- ② 聖なる祭司として霊的ないけにえをイエス・キリストを通して(dia)捧げる(1ペテロ2:5b)→diaとは時間・場所・手段などを包括的に示す
- ③ 選ばれた種族、王である祭司団、聖なる国民、神の所有(1ペテロ2:9)
- ④ 祭司職の本質:神と人の結ぶ→捧げ物が必要、それはキリスト!
- ⑤ 奉仕の鍵はdia=キリストにあって、キリストのために、キリストによりて→ヨハネ15章
- ⑥ **神を唯一満足させるもの、それはキリストご自身(1テモテ3:15)**
- ⑦ 祭司の分(ヘブル3:14)
 - (a) 和解の捧げ物の胸肉(レビ7:34)→心の宿るところ(愛と義と知恵なるキリストcf.1コリント1:30);右後ろ足(力・活動の源cf.1コリント2:5;4:20;2コリント4:7;6:7)
 - (b) 贖罪の捧げ物:レビ7:6→ほふられたキリストの肉を食べる(ヨハネ6:56)
→豊かさを分かち合う務めに与る

【暗証聖句】

1ペテロ2:5 あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。そして聖なる祭司となって神に喜ばれる霊的ないけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。

2:6 聖書にこう書いてあるからです。「見よ、わたしは、選ばれた尊いかなめ石を、シオンに置く。これを信じる者は、決して失望することはない。」

2:7 従って、この石は、信じているあなたがたには掛けがえのないものですが、信じない者たちにとっては、「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった」のであり、

2:8 また、「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らは御言葉を信じないのでつまずきのですが、実は、そうなるように以前から定められているのです。

2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司団、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。